

第3回 長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和3年(2021年)10月3日(日)10:00~13:00
場所	長房ふれあい館 会議室
出席者	参加者:浅井、宇田、大田原、片岡、坂本、鈴木、田中、塚本、西山、長谷川、藤原、本多、本堂、松葉、森、山陰、渡辺 法政大学:函司教授、加藤、永野、平田、宮路、村田、渡邊 社会福祉協議会:大嶋 高齢者あんしん相談センター長房:古座野 シルバー見守り相談室長房:光富 第1層生活支援コーディネーター:今泉 八王子地域 PAL-ETTE:小杉、雑賀 未来デザイン室:今川、野田、安齋、橋本、牧瀬 RPI:笠原、加藤、新津
見学者	八王子未来 CAN-VAS:和田
配付資料	・第3回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 長房中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(案) ・資料2 地域カルテ構成案(修正版) ・資料3 長房中学校区地域づくり推進会議等の実施スケジュール(修正版) ・追加資料 第3回長房中学校区地域づくり推進会議 事前検討資料まとめ ・第2回推進会議資料 長房中学校区地域カルテ(レイアウト案)

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. オリエンテーション

新規参加者から自己紹介。

函司教授から挨拶。

3. 議題

(1) 学生と地域の魅力について語ろう

学生が2グループに分かれ、それぞれが長房を探索した結果や疑問点、学生視点での提案などを発表。学生からの意見は以下のとおり。

- ・インスタグラムなどの SNS を活用して地域のことを発信し、地域の知名度向上につなげる。
- ・学生がイベントを行うことで多世代交流を図る。 地域の年間行事にはどのようなものがあるか。
- ・大学生が地域のグラウンドを使用することでスポーツを通じた多世代交流を図る。 地域のグラウンドはどのように使用されているか。

参加者の意見

- ・1年間に渡り様々なイベントがある。年間行事については、長房市民センターに確認することで把握可能。また、交通安全活動は1年間を通じて取り組んでいる。

- ・各小学校や地域内のグラウンドは活発に利用されている。大学からスポーツ指導者などの派遣があると良いのではないかと。

(2)アクションプランを検討しよう

資料 1(長房中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(案))、追加資料(第3回長房中学校区地域づくり推進会議 事前検討資料まとめ)をもとにこれまでに出たアクションプランについて事務局から説明し、優先したい分野、連携できそうな分野について意見交換をした後、最優先分野と優先分野について、シール貼付による投票を行った。参加者からの意見は、以下のとおり。

参加者の意見

- ・青少年対策地区委員会では地域の清掃、学校運営協議会では挨拶運動を住民と一緒にやっている。
- ・長房東団地の自治会と包括支援センターなどが協力してハロウィンイベントの開催を企画している。このような活動は子どもから高齢者まで見守りや支え合い、多世代交流につながる。
- ・若い学生の視点から多世代交流を広げていきたい。
- ・テーマ型活動の充実が他の分野の充実につながる。
- ・次世代のリーダーを育成することが大事。リーダーがいなければ物事が進まない。
- ・若い世代の関わり方に期待している。
- ・様々なノウハウやスキルを持つリタイア世代(60代)が地域参加しやすい仕組みがあると良い。
- ・企業などで得たスキルを棚卸し、地域で生かしていけると良い。
- ・自治会のイベントやクラブ活動を通して、地域内の世代間ギャップを埋めたい。
- ・地域の歴史を楽しく学べる、子ども大人も楽しめる地域の散策マップやイベントづくりを行う。
- ・10代20代向けのスポーツ大会があると良い。
- ・地域の情報を取得できる場が少ない。インスタグラム等で若い世代も気軽に地域情報を知れると良い。
- ・地域カルテの情報をインスタグラムやホームページにも掲載し、若い世代に向けて発信する。
- ・八王子の西部地域では、地域全体の運動会を行っている。浅川では、地域全体とは別に町会、年齢を単位に運動会を行っている。
- ・船田小学校では、赤ちゃんから高齢者までが参加する清掃活動を行っている。

(3)地域カルテの構成を確認しよう

【地域カルテ】

資料2 (地域カルテ構成案(修正版))、追加資料(長房中学校区地域カルテ(レイアウト案))を参考に、地域カルテの構成案と内容を検討した。参加者からの意見は、以下のとおり。

参加者の意見

- ・趣味、サークル活動にふれあい館主催の活動を追加してはどうか。
- ・子ども会は町会の傘下であるため、掲載位置を再検討した方が良い。
- ・無料塾、居場所に「児童館」を追加してはどうか。
- ・地域の災害拠点(「地震・火災」「洪水・風水害」)についての記載は、根拠に基づき慎重に行う必要がある。
- ・地域資源マップにAEDの設置場所を追加してはどうか。
- ・情報は読みやすい大きさの字にする必要がある。

- ・地域で普段から暮らしている子どもや高齢者の視点も入れたい。例えば通学路の危ない場所は子どもだからこそ知っている情報であり、子どもが関わることで、地域資源マップを見てくれるようになる。大学生とのコラボレーションで地図づくりワークショップを実施してはどうか。
- ・中学校区の範囲外(周辺)の情報をカルテの中には入れることはできるのか。
基本的には中学校区単位で構成を考える。情報収集の中で中学校区外の情報が必要となれば、追加していくことも可能である。(未来デザイン室)

学生の意見

- ・地域特有ページに長房の食べ歩き情報(マップ)を入れてはどうか。
- ・地域特有ページにインスタ映えするスポットや地域で有名な場所を入れてはどうか。

【アンケート】

- ・地域の将来ビジョンや地域カルテの地域固有ページについてのアンケート内容を検討した。参加者からの意見は以下のとおり。

参加者の意見

- ・「長房中学校区」という言葉に馴染みがない。「中学校区」の説明をアンケートで入れる必要がある。
- ・地域のありたい姿の項目は、初見の人が答えるには内容が難しくハードルが高い。本アンケートの目的や趣旨を明確にして回答者に伝える必要がある。
本日の議論を踏まえ、事務局で案内文と調査票の案を作成し、次回の会議で再検討を行う。(未来デザイン室)

(4) 地域づくり推進会議の運営方法を検討しよう

未来デザイン室から推進会議の参加者や地域団体との連携について説明をし、参加者との意見交換を行った。参加者からの意見は以下のとおり。

- ・参加者には保護司と子ども会を追加してはどうか。
 - ・数多くの団体も含めて一つにまとめて運営するのは、現実的に課題が多いのではないか。
- 今回の意見を踏まえ、次回の会議で候補者を提示しつつ、長房中学校区における推進会議参加者を決定する。(未来デザイン室)

4. その他

第4回推進会議の開催日程等を確認

日時:令和3年(2021年)10月23日(土)

場所:長房小学校1階 プレイルーム

以上